第3回教育研究評議会議事要録

- 1 日 時 平成16年 4 月14日 (水) 13:10～15:55
- 2 場 所 本部棟 2階 「特別会議室」
- 3 出席者 17人 (別紙名簿のとおり)
陪席者 1人 (//)

議事に先立ち、学長から、第1回教育研究評議会及び第2回教育研究評議会の議事要録について確認があり、原案どおりこれを承認し、議事に入った。

4 議 題

(1) 教員選考の開始について

① 小学校英語教育センター就任予定教員の選考について

学長から、参考資料「教員配置 (平成16年度)」に基づき、3月24日開催の第14回運営評議会 (臨時) において配置することが承認された、小学校英語教育センターへの就任予定教員の選考を開始することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、任用予定日は平成17年4月1日とし、教授定員をもって充てるが、任用は助教授又は講師でも可とすること、人選は学内の言語系 (英語) 教育講座等から行うこと、選考は人事委員会において出来るだけ速やかに行うこととした。

また、学長から、当該センターの組織、活動内容、運営方法等については、今後、改革推進委員会及び当該センター設立準備のための準備会を設置し検討を行う旨、説明があった。

② 高度科学教育国際協力研究センター就任予定教員の選考について

学長から、参考資料「教員配置（平成16年度）」に基づき、3月24日開催の第14回運営評議会（臨時）において配置することが承認された、高度科学教育国際協力研究センターへの就任予定教員の選考を開始することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、任用予定日は平成17年4月1日とし、定員は教授1人、助教授1人をもって充て、任用は教授又は助教授とすること、人選は学内の自然系（数学）教育講座及び自然系（理科）教育講座から行うこと、選考は人事委員会において出来るだけ速やかに行うこととした。

また、学長から、当該センターの組織、活動内容、運営方法等については、今後、改革推進委員会及び当該センター設立準備のための準備会を設置し検討を行う旨、説明があった。

③ 学校教育実践センター実地教育担当教員の選考について

学長から、参考資料「教員配置（平成16年度）」に基づき、3月24日開催の第14回運営評議会（臨時）において配置することが承認された、学校教育実践センター実地教育担当教員の選考を開始することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、任用予定日は平成16年8月1日とし、助教授定員をもって充て、任用は助教授又は講師とすること、人選は学内から行うこと、選考は人事委員会において出来るだけ速やかに行うこととした。

④ 教員採用試験対策業務担当教授又は助教授の採用について

村田理事から、参考資料「教員配置（平成16年度）」及び資料1に基づき、3月24日開催の第14回運営評議会（臨時）において配置することが承認された、教員採用試験対策業務担当教員の選考の申し出があり、審議の結果、これを承認した。

(2) 名誉教授の称号授与について

- ① 国立大学法人鳴門教育大学名誉教授称号授与規則に関する申合せの制定について
学長から、資料2に基づき、国立大学法人鳴門教育大学名誉教授称号授与規則第7条の規定に基づく申合せ（案）について説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。
- ② 溝上 泰 元学長に係る名誉教授の称号授与について
学長から、資料2-2に基づき、溝上 元学長の功績等について説明があり、審議の結果、名誉教授の称号を授与することを承認した。
- ③ 佐々木保行 元副学長に係る名誉教授の称号授与について
学長から、資料2-3に基づき、佐々木 元副学長の功績等について説明があり、審議の結果、名誉教授の称号を授与することを承認した。
- ④ 藤原康晴 元副学長に係る名誉教授の称号授与について
学長から、資料2-4に基づき、藤原 元副学長の功績等について説明があり、審議の結果、名誉教授の称号を授与することを承認した。
- ⑤ 社会系教育講座 野村文男 元教授に係る名誉教授の称号授与について
向井評議員（第2部部長）から、資料2-5に基づき、野村 元教授の功績等について説明があり、審議の結果、名誉教授の称号を授与することを承認した。
- ⑥ 生活・健康系（保健体育）教育講座 山本貞美 元教授に係る名誉教授の称号授与について
賀川評議員（第5部部長）から、資料2-6に基づき、山本 元教授の功績等について説明があり、審議の結果、名誉教授の称号を授与することを承認した。

- (3) 国立大学法人鳴門教育大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部修正について
学長から、資料3に基づき、4月1日開催の第2回役員会で決議された「国立大学法人鳴門教育大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程」について、鳴門労働基準監督署から起算日を明確にするよう指導があったため、規程第2条(所定勤務時間)第1項及び第3項を修正する旨の説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。
- (4) 国立大学法人鳴門教育大学改革推進委員会規程の制定について
学長から、資料4に基づき、改革推進委員会規程(案)について説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。
引き続き、事務局から、配付資料に基づき旧改革推進委員会廃止に伴う検討事項所管替案について説明があり、審議の結果、これを承認した。
なお、学部及び大学院のカリキュラム編成については、早急に成案を得る必要があるため、旧改革推進委員会カリキュラム編成小委員会の委員を各教務委員会の下に置く専門部会委員として位置付けることが併せて了承された。
- (5) 国立大学法人鳴門教育大学評価規則等の制定について
学長から、資料5及び資料5-2に基づき、評価規則(案)及び評価委員会規程(案)について説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。
- (6) 国立大学法人鳴門教育大学情報環境推進委員会規程の制定について
学長から、資料6に基づき、情報環境推進委員会規程(案)について説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。

5 報告事項

(1) 平成16年度学校教育学部入学者状況について

村田理事（学校教育学部入学試験委員会委員長）から、資料7に基づき、平成16年度の学部入学者状況について報告があった。

(2) 平成16年度大学院学校教育研究科入学者状況及び定員確保のための方策等について

村田理事（大学院学校教育研究科入学試験委員会委員長）から、資料8に基づき、平成16年度大学院入学者選抜状況及び入学者状況について報告があった。

また、資料8-2に基づき、大学院説明会実施計画、教育委員会訪問計画、平成17年度から実施する学校教員養成プログラム（長期履修）及び日本語教育分野の広報等、大学院の定員確保のための方策について併せて報告があった。

引き続き、学長から、大学院の定員確保に向けた方策を講じるにあたり、職員に協力願いたい旨の要請があった。

(3) 鳴門教育大学と光州教育大学校との国際学術交流協定及び学生交流実施細目の更新について

村田理事（国際交流委員会委員長）から、資料9に基づき、本学と光州教育大学校に係る国際学術交流協定及び学生交流実施細目の更新について説明があり、その効力が平成16年3月5日付けで発効となった旨の報告があった。

(4) 鳴門教育大学とピューージェット・サウンド大学との国際学術協力交流協定の更新について

村田理事（国際交流委員会委員長）から、資料10に基づき、本学とピューージェット・サウンド大学に係る国際学術協力交流協定の更新について説明があり、その効力が平成16年3月17日付けで発効となった旨の報告があった。

(5) 鳴門教育大学とサンディエゴ州立大学との国際学術交流協定及び学生交流実施細目の締結について

村田理事（国際交流委員会委員長）から、口頭により1月14日開催の第11回運営評議会において了承されたサンディエゴ州立大学との国際学術交流協定及び学生交流実施細目の締結について、同大学に意向確認を行ったところ、州からの予算減及び交流協定締結校の制限の影響もあり、締結が困難となった旨の回答があったことから、同大学との協定については取り下げる旨の報告があった。

(6) 平成16年度各種委員会委員等について

学長から、資料11に基づき、平成16年度学内各種委員会委員等について報告があった。

(7) 平成16年4月の人事異動について

学長から、資料12に基づき、平成16年3月31日及び平成16年4月1日付けの人事異動について報告があった。

(8) その他

① 国立大学法人鳴門教育大学職員労働環境協議会の役員について

事務局から、4月7日（水）に開催された「国立大学法人鳴門教育大学職員労働環境協議会第1回総会」において、次のとおり役員が選出された旨の報告があった。

- 会 長 岩永 定 （学校改善講座 教授）
- 副会長 大石雅章 （社会系教育講座 教授）
- 〃 佐々木晃 （附属幼稚園 教諭）
- 書 記 内藤 隆 （芸術系(美術)教育講座 助教授）
- 〃 槌谷和也 （総務部総務課 企画・評価係長）

引き続き、事務局から、同協議会の活動にあたり、大学施設を使用することについて教育研究評議会の了解を願いたい旨、同協議会会長より申し出があったことの説明があり、審議の結果、これを了承した。

② 平成16年度の棟事務室体制について

事務局から、平成16年度の棟事務室の体制については4月5日付け文書で教員に周知しているところであるが、あらためて理解、協力願いたい旨の説明があった。

③ 特色ある大学教育支援プログラムの申請について

村田理事から、資料13に基づき、平成16年度「特色ある大学教育等支援プログラム（GP）」の申請について報告があった。

引き続き、学長から、文部科学省より6月頃に公募要領等の通知が予定されている「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」への申請に向け、今後、プロジェクトチームを発足させ、検討を行いたい旨の説明があった。

○ 次回の教育研究評議会は、5月12日（水）の13時10分から開催することとした。